

四万十市新食肉センター整備基本設計業務委託 公募型プロポーザルの審査結果について

1 概要

現四万十市営食肉センターは、地域の食肉産業の拠点として、また高知県の畜産業振興の拠点として機能しているが、操業以来50年余りが経過し、施設の老朽化等の課題を抱えており、新食肉センター整備を目指して取り組んでいる。

本業務は、と畜場という特殊施設であり、かつ、現施設を稼働させながらの建替であることから、設計者の技術提案内容及び能力・適正等を総合的に判断し、本業務に最も適した設計者を選定するため公募型プロポーザルを実施した。

2 プロポーザルの経緯

プロポーザルの実施にあたり、「四万十市新食肉センター整備基本設計業務公募型プロポーザル審査会」（以下、「審査会」という。）を設置し、事業者の選定を厳正かつ公正に行うこととした。

令和4年5月9日（月）	プロポーザル開始の公告
令和4年5月13日（金）	参加表明等に関する質疑受付期限
令和4年5月13日（金）	参加表明等に関する質疑の回答
令和4年5月20日（金）	参加表明書等の提出期限
令和4年6月3日（金）	技術提案書の要請
令和4年6月10日（金）	技術提案書に関する質疑受付期限
令和4年6月14日（火）	技術提案書に関する質疑の回答
令和4年6月30日（木）	技術提案書の提出期限
令和4年7月8日（金）	審査会（プレゼンテーション及びヒアリング）
令和4年7月15日（金）	選定結果通知

3 1次審査(客観評価)の経過

参加表明があった3者について、事務局にて客観評価（「参加者の評価」、「配置技術者の資格」、「担当技術者業務実績」）を行い、3者全てを資格適合者に特定した。

【審査項目及び配点】

評価項目	評価の着目点	配点
参加者の評価	参加者の技術職員数、有資格者数、同種業務実績を評価	25
配置技術者の資格	配置技術者の有する資格について評価	18
担当技術者業務実績	担当技術者の実績及び手持業務について評価	73
合計		116

4 2次審査(プレゼンテーション)の経過

技術提案書の提出があった2者(1者は辞退)について、令和4年7月8日(金)開催の審査会においてプレゼンテーション及びヒアリングにより評価を行った。

【審査項目及び配点】

評価項目	評価の着目点	配点
業務実施方針	実施方針について評価	30
特定テーマに対する技術提案①	食肉センターのありかたについて、与条件に対し理解度の高い提案となっているか評価	30
特定テーマに対する技術提案②	設計上の課題について、与条件に対し理解度の高い提案となっているか評価	30
特定テーマに対する技術提案③	コスト削減の取組について、与条件に対し理解度の高い提案となっているか評価	30
参考見積額	価格点 = (提案価格のうち最低価格/自社の提案価格) × 価格点満点	20
合計		140

(配点140点×審査員7名=980点)

プレゼンテーションの結果、2者ともに本事業への課題への十分な理解や取組意欲が読み取れるとともに、豊富な実績、適切な専門性、高い技術力に裏付けられたものであり、提案者が本協議会の求める設計者としての資質を総合的に備えていると判断した。

5 受託候補者の選定

受託候補者の選定は、本協議会の求める設計者としての資質を総合的に備えていると判断した2者について、第一次審査の客観評価点を加えた総合点にて順位付けし、受託候補者及び次点候補者を選定した。

6 審査結果

受託候補者 株式会社大建設大阪事務所 840.5点

次点候補者 B社 691.3点

7 審査講評

技術提案書の提出があった2者からは、それぞれに優れた提案があり、いずれの者であっても業務の遂行能力を備えていることが認められた。

今回の四万十市新食肉センター整備事業には、基本計画修正版にもあるように、次のような特徴があり、基本設計という立場から、その特徴への柔軟な発想や実現性、また課題解決のための踏み込んだ考え方がどのようにあるかが選定にあたっての着目点であった。

特徴の第一は、と畜場という特殊施設であり、中心的となる生産設備・機器に加え、建築、建築設備、ユーティリティー設備、情報設備等の各専門的な技術について、第三セクターの運営に配慮し、バランスのとれた設計が必要となること。

第二は、現施設を稼働させ、既存の機能を維持しながらの建替となるため、関連する民間事業者も含め、食肉センター全体にとって最適な建替計画が必要となること。

第三は、近年の資材高騰の中、品質を確保しつつコスト縮減に関する具体的な提案や、建築費用が割高になっても将来のコスト削減を抑制できる効果が期待できる技術提案が必要となること。

このような諸課題等を踏まえた基本設計を限られた期間内で策定できる条件（チーム力、提案力なども含む）を有している点を総合的に判断し、「株式会社大建設大阪事務所」を受託候補者として選定した。

終わりに、今回のプロポーザルに参加され、貴重な時間を費やして真摯に努力いただいた提案者各位の努力と熱意に対し、心より敬意を表しますとともに、今後新食肉センターが長期にわたって市民ならびに県民に愛されることをご祈念申し上げ、審査にあたっての講評とします。

四万十市新食肉センター整備

基本設計業務委託公募型プロポーザル審査会

委員長 田能 浩二